

## 第5章 リーディングプロジェクト

環境施策や取り組みの中でも、市民の関心が高い、多くの市民や事業者の参加が見込める、速やかにスタートできて効果もわかりやすい、社会的に強く要請されている等の条件に合う施策や取り組み（又はそれらのミックス）を「リーディングプロジェクト（計画を先導する取り組み）」として掲げ、市民、事業者、市民団体及び市が協働して推進していきます。

表 5-1-1 には、第 1 次計画で掲げられたリーディングプロジェクト及び第 2 次計画で新たに追加するリーディングプロジェクトをまとめました。

表 5-1-1 第 2 次計画でのリーディングプロジェクト

プロジェクト名		プロジェクトの概要
ひと 分野	①環境基本計画推進組織の支援	環境基本計画を推進する要となる推進組織の活性化と人づくりを支援する。特に、「活動に参加する人をいかに増やすか、活動する人づくり」を重要視して、取り組む。
	②環境学習推進プロジェクト	環境負荷が低減した循環型社会をめざし、すべての世代で自然環境や地球環境問題等の環境学習を行い、日常生活で環境活動を率先して行う市民をめざす。
しぜん 分野	③自然保全プロジェクト	森林が持つ多機能的な役割や河川で育まれる生物の多様性を守るため、計画的な森林の管理を行い、河川の美化や水質改善に取り組むとともに、津山の自然環境に関心が生まれるイベントを開催する。
	④地球温暖化対策プロジェクト	日常生活の中で温室効果ガス排出抑制を実行できる市民を育てる。市は地球温暖化対策地域推進計画を改定する。
まち 分野	⑤交通低炭素化プロジェクト	「低炭素都市津山」の実現に向け、公共交通の利用促進や環境に配慮した次世代自動車の積極的な導入等による交通の低炭素化を推進する。
しくみ 分野	⑥津山エネルギー導入プロジェクト	「低炭素都市津山」の実現に向けて、木質バイオマスや小水力、太陽光など様々な再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギーの地産地消をめざすとともに、化石燃料由来のエネルギーからの転換を行うことで、地域からの地球温暖化対策を発信し、あわせて、地域経済の活性化をめざす。
	⑦ごみゼロ大作戦	市民、学生、事業者、学校、市民団体及び津山市が協働して運営する「ごみゼロ推進懇談会」及び「3Rプロジェクト実行委員会」において、ごみの減量について検討し、市は具体的な事業を推進する。

【リーディングプロジェクト】 ①環境基本計画推進組織の支援

名称	環境基本計画推進組織の支援					
概要	環境基本計画を推進する要となる推進組織の活性化と人づくりを支援します。この一環として、環境活動に興味を持つ市民や事業者等のために、ICT等を活用して活動団体とのマッチング等を行います。					
目的	市民が主体となった活動団体を支援することで、柔軟な発想による活動が実現され、より多くの市民が活動に参加しやすくなり、環境意識の高揚及び市民、事業者、市民団体及び市の協働につながります。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津山市環境基本計画及び環境基本計画推進組織について、市民の認知度向上のため、広報やホームページにより、広く周知します。</li> <li>●環境基本計画推進組織のメンバーとして活動することに興味を持つ市民等を、広報やホームページに加えて、現在のメンバーが関わる環境団体や教育団体等、さらに津山市環境政策審議会委員の協力も得て、ICTの活用（SNS等）により、市内・市外を問わず広く募集します。</li> <li>●環境基本計画推進組織は、興味を持つ人のための説明会を適宜実施するとともに、初参加の人でも楽しめるような体験プログラムを作成し実施します。</li> <li>●市は、環境基本計画推進組織の活動に当たってのノウハウ提供、講師のあっせん、他自治体・県・国など関係機関との調整、場所の提供・あっせん、事業委託などで支援します。</li> </ul>					
役割分担						
実施時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>前期（平成 28～32 年度）</th> <th>後期（平成 33～37 年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul>	
前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会員数の増加と人づくり</li> <li>●協働の構築</li> <li>●プロジェクトの推進</li> </ul>					

○ICT

ICT (Information and Communication Technology) は「情報通信技術」、つまり、コンピューターやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称の略。IT (Information Technology: 情報技術) とほぼ同義の意味を持つが、コンピューター関連の技術をIT、コンピューター技術の活用に着目する場合はICTと、区別して用いる場合もある。

【リーディングプロジェクト】 ②環境学習推進プロジェクト

名称	環境学習推進プロジェクト					
概要	環境負荷が低減した循環型社会をめざし、すべての世代で自然環境や地球温暖化問題等の環境学習を行い、日常生活で環境活動を率先して行う市民をめざします。					
目的	環境政策を効果的に展開するために、市民一人ひとりが環境問題を身近な問題として捉え、次世代を担う子どもや現役世代の行動変容を促すことを目的とします。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公民館等において、地域ぐるみでの生涯学習の一環とした、環境学習講座を開催します。</li> <li>●希望する団体等に対し、出前講座として講師を派遣します。</li> <li>●幼稚園や保育所などの就学前教育や学校教育、生涯学習のための分かりやすい環境学習のプログラムの調査・研究・教材の作成を行います。</li> <li>●時代のニーズや市民の関心を的確に踏まえ、市民に対し広く周知するセミナーを関係団体と開催します。</li> <li>●人材育成講座を開催します。</li> </ul>					
役割分担	<p>The diagram illustrates the roles of various stakeholders in the environmental learning promotion project. At the center is a box labeled "環境学習推進検討" (Environmental Learning Promotion Study). To its left is a box labeled "環境基本計画推進組織" (Environmental Basic Plan Promotion Organization), which is connected to "事業者" (Businesses) and "市民" (Citizens). Below it is a box labeled "市民団体" (Citizens' Groups). To the right is a box labeled "市" (City), which includes "津山市環境政策推進本部会議" (Tsu City Environmental Policy Promotion Main Committee Meeting).</p>					
実施時期	<table border="1"> <tr> <th>前期（平成 28～32 年度）</th> <th>後期（平成 33～37 年度）</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul> </td> </tr> </table>	前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul>	
前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境プログラムの調査・研究・教材の作成</li> <li>●環境学習講座、セミナーの開催</li> </ul>					

【リーディングプロジェクト】 ③自然保全プロジェクト

名称	自然保全プロジェクト					
概要	<p>森林が持つ水源涵養や二酸化炭素吸収源等の多機能的な役割や、河川で育まれる生物の多様性を守るため、計画的な森林の管理を行い、河川の美化や水質改善に取り組むとともに、津山の自然環境に関心が生まれるイベントを開催します。</p>					
目的	<p>岡山県三大河川の一つである吉井川が市内を流れ、豊かな森林に恵まれた津山市の特性を活かして、計画的な自然保護施策を展開することで自然環境の保全を図ります。また、人と自然との関係等について体験を通して学べる機会を提供することで、市民意識の高揚を図ります。</p>					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林整備を計画的に行い、森林の多面的機能の向上を図ります。併せて、未利用材の積極的な活用を行います。</li> <li>●河川の水質改善に向け、引き続き生活排水対策等を行います。また、河川美化の活動を地域とともに実施します。</li> <li>●自然環境に関心を持ち、環境を大切にする市民を増やすために、自然体験イベントを企画し、実施します。</li> </ul>					
役割分担						
実施時期	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">前期（平成 28～32 年度）</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">後期（平成 33～37 年度）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●自然環境保全に関する活動の推進</td> <td style="text-align: center;">●自然環境保全に関する活動の推進</td> </tr> </table>		前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）	●自然環境保全に関する活動の推進	●自然環境保全に関する活動の推進
前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）					
●自然環境保全に関する活動の推進	●自然環境保全に関する活動の推進					

【リーディングプロジェクト】 ④地球温暖化対策プロジェクト

名称	地球温暖化対策プロジェクト					
概要	地球温暖化対策として、温室効果ガス排出抑制のためのプログラム作成を行い、日常の市民生活、あるいは経済活動等の事業活動の中で温暖化対策を実行できる市民・事業者等を育てます。このため、市は「地球温暖化対策地域推進計画」を改定し、地域からの温暖化対策を推進します。					
目的	地球温暖化問題を身近なこととして捉え、市民、事業者等の環境意識の高揚を図るとともに、地球温暖化対策地域推進計画に基づいて体系的な施策を講ずることにより、温室効果ガス抑制を図ります。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策の必要性を啓発し、効果的な学習プログラムを作成・実施します。</li> <li>●地球温暖化対策に効果的な省エネ機器の導入の普及促進を図ります。</li> <li>●J-クレジット制度を活用したカーボン・オフセットなど、地域ぐるみで二酸化炭素削減活動に取り組みます。</li> <li>●自然エネルギーの活用、交通の低炭素化、3Rの推進など地域からの温暖化対策活動を推進します。</li> <li>●社会変化に対応するため、地球温暖化対策地域推進計画の改定を行い、施策を展開します。</li> </ul>					
役割分担	<p>The diagram illustrates the roles of various stakeholders in the project. At the center is the '環境基本計画推進組織' (Environmental Basic Plan Promotion Organization), which is responsible for the '地球温暖化対策の検討' (Review of Global Warming Countermeasures). To its left are '事業者' (Businesses) and '市民' (Citizens). Below it is '市民団体' (Citizens' Groups). To its right is the '津山市環境政策推進本部会議' (Tsu City Environmental Policy Promotion Main Committee).</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>事業者</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト参画</li> <li>●地球温暖化対策推進</li> </ul> </li> <li><b>市民</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト参画</li> <li>●地球温暖化対策推進</li> </ul> </li> <li><b>市民団体</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト参画</li> <li>●地球温暖化対策推進</li> </ul> </li> <li><b>津山市環境政策推進本部会議</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●計画の策定と推進</li> <li>●各施策の実施</li> <li>●各主体の支援</li> <li>●普及啓発</li> </ul> </li> </ul>					
実施時期	<table border="1"> <tr> <th>前期（平成 28～32 年度）</th> <th>後期（平成 33～37 年度）</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策地域推進計画の策定</li> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul> </td> </tr> </table>	前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策地域推進計画の策定</li> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul>	
前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策地域推進計画の策定</li> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化対策の推進</li> </ul>					

【リーディングプロジェクト】 ⑤交通低炭素化プロジェクト

名称	交通低炭素化プロジェクト	
概要	「低炭素都市津山」の実現に向け、公共交通の利用促進や環境に配慮した次世代自動車の積極的な導入等による交通の低炭素化を推進します。	
目的	<p>地球温暖化の大きな要因でもある自動車からの温室効果ガスの排出削減を推進するため、市民に対し、公共交通の積極的な活用を行うとともに、マイカーや事業者の車両等、環境性能や経済性にも優れた次世代自動車の導入を図ります。</p> <p>また、地元企業や観光分野において、超小型モビリティの活用を検討することによって、新たな手法による観光・ビジネス振興を図ります。</p>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エコ・ドライブの普及に取り組みます。</li> <li>●ノーマイカーデーの取り組みを行います。</li> <li>●通勤や通学において、公共交通を積極的に利用します。</li> <li>●次世代自動車の普及に向けて取り組みます。</li> <li>●超小型モビリティ利用方策や普及啓発等を検討し、カーシェアリング等の新たな手法の導入を図るため、実証事業を行います。</li> </ul>	
役割分担		
実施時期	<p>前期（平成 28～32 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の利用促進</li> <li>●次世代自動車の普及促進</li> <li>●超小型モビリティの実証事業の実施及び普及拡大</li> </ul>	<p>後期（平成 33～37 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の利用促進</li> <li>●次世代自動車の普及促進</li> <li>●超小型モビリティの普及拡大</li> </ul>

○超小型モビリティ

自動車よりコンパクトで、地域の手軽な移動の足となる 1 人～2 人乗り程度の車両。交通の抜本的な省エネルギー化に資するとともに、高齢者を含むあらゆる世代に手軽な足を提供し、生活・移動の質の向上をもたらす、省エネ・少子高齢化時代の「新たなカテゴリー」の乗り物とされている。

【リーディングプロジェクト】 ⑥津山エネルギー導入プロジェクト

名称	津山エネルギー導入プロジェクト					
概要	津山市は、総面積の約7割を占める森林、岡山県三大河川の一つである吉井川、降り注ぐ太陽光など、豊かな自然を有するまちです。これら恵まれた自然のエネルギーを有効に活用した再生可能エネルギーの導入を促進します。					
目的	「低炭素都市津山」の実現に向けて、木質バイオマスや小水力、太陽光など様々な再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギーの地産地消をめざすとともに、化石燃料由来のエネルギーからの転換を行うことで、地域からの地球温暖化対策を発信し、あわせて、地域経済の活性化をめざします。また、再生可能エネルギーの導入手法として、市民や地元事業者等、産学官民金の連携で、事業体制の構築を行います。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●木質バイオマス熱電併用施設を導入します。</li> <li>●小水力発電の設置を行います。</li> <li>●住宅用の太陽光発電設備の導入を促進します。</li> <li>●市民協働発電所を、環境基本計画推進組織と協働で推進します。</li> <li>●再生可能エネルギーを活用した地域内エネルギー循環及び地域経済活性化の検討及び提案を行います。</li> <li>●地域の学術機関や企業が研究・開発する技術の普及を支援します。</li> </ul>					
役割分担						
実施時期	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">前期（平成 28～32 年度）</th> <th style="width: 50%;">後期（平成 33～37 年度）</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul> </td> </tr> </table>		前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul>
前期（平成 28～32 年度）	後期（平成 33～37 年度）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>●発電プロジェクトの推進</li> </ul>					

【リーディングプロジェクト】 ⑦ごみゼロ大作戦

名称	ごみゼロ大作戦					
概要	市民・学生・事業者・学校・市民団体・市が協働して、「ごみゼロ推進懇談会」及び「3Rプロジェクト実行委員会」を運営し、ごみの減量について検討します。また、津山圏域クリーンセンターのリサイクルプラザを活用して、3Rの取り組みを推進します。					
目的	市民等との協働の手法により、循環型社会の実現を図ります。また、リサイクルプラザを拠点として、3Rを始めとする普及啓発を推進し、人々の環境に対する意識の高揚を図ります。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ごみゼロ推進懇談会」及び「3Rプロジェクト実行委員会」を開催します。</li> <li>●津山市のごみ減量の取り組みに関わりや関心のある市民、学生、事業者、学校、市民団体を募り、懇談会及び実行委員会への参画を促します。</li> <li>●「ごみゼロ推進懇談会」及び「3Rプロジェクト実行委員会」では、「ごみゼロ」、「3R」の推進に向けた手法を検討し、具体的な事業として企画・提案します。</li> <li>●津山市は、これらの企画・提案を受けて、具体的な事業を検討し実施します。</li> </ul>					
役割分担						
実施時期	<table border="1"> <tr> <th>前期（平成28～32年度）</th> <th>後期（平成33～37年度）</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみゼロ施策の検討</li> <li>●事業計画の策定・実施</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●更なるごみゼロ施策の実施・推進</li> </ul> </td> </tr> </table>	前期（平成28～32年度）	後期（平成33～37年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみゼロ施策の検討</li> <li>●事業計画の策定・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●更なるごみゼロ施策の実施・推進</li> </ul>	
前期（平成28～32年度）	後期（平成33～37年度）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみゼロ施策の検討</li> <li>●事業計画の策定・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●更なるごみゼロ施策の実施・推進</li> </ul>					

○ごみゼロ推進懇談会

ごみ焼却場の老朽化、埋立地の残容量が逼迫するという状況の中、平成14年に市の呼びかけで、消費者団体、事業者、行政が協働してごみゼロ社会を推進するため、「ごみゼロ推進懇談会」が発足した。主な取り組みとして、市内スーパーと連携してマイバッグ持参運動を推進している。

○3Rプロジェクト実行委員会

市の呼びかけで、平成26年に市内に通学する学生が中心となって作成した3R啓発キャラクターを活用して、幅広い世代を対象に3Rの普及啓発を推進するため、「3Rプロジェクト実行委員会」が発足した。主な取り組みとして、環境啓発用ビデオや環境ソングの作成、環境ミュージカルの公演などを行っている。